

平成28年度 第1回三輪公民館運営審議会 開催概要

- 1 日時 平成28年6月29日（水曜日）午後3時から午後4時30分
- 2 場所 長野市立三輪公民館 1階 学習室1
- 3 出席者 委員8名（欠席者1名（井上加代子委員））
（伊倉順治委員、志村ヒロミ委員、角田みさと委員、寺岡雄三委員、徳武康夫委員、野口茂雄委員、平林シカイ委員、丸山憲司委員）

事務局2名 西澤潔館長、朝日秀文係長
- 4 委嘱書交付 開会後会議の成立を報告、三輪小学校長の人事異動に伴い、新たに委員となった野口茂雄委員に委嘱書を交付
- 5 議題 （1）平成27年度 三輪公民館事業報告について（資料別添）
（2）平成28年度 三輪公民館事業計画（案）について（資料別添）
- 6 議事録（質疑応答部分）

〔委員〕

成人祝賀会は公民館事業になるのか？キッズふるさと体験同様主体は住自協で、公民館は協力いただく内容と認識していたが？

〔公民館〕

おっしゃるとおり実施主体は住自協となります。公民館としましては様々な面でのご協力をさせていただきます。

〔委員〕

三輪公民館の図書室にある本は更新されているのか？また市立図書館のようにインターネットで予約することは可能なのか？

〔公民館〕

新刊本などは、ほぼ毎月南部図書館から送られて来ます。それに併せて古い本、また利用の少ない本などは順次除籍とすることで更新しています。またインターネットでの予約についてはご利用いただけません。

〔委員〕

講座の中の三輪教養大学について。4年制の講座とのことだが、カリキュラムはどうなっているのか？上級生は昨年と同じ内容を聞くことになるのか？

〔公民館〕

そのようなことの無いよう、毎年内容を変えながら実施しています。ただし人気のある分野、特に歴史などは同じ講師の方をお願いすることもあります。内容については配慮をお願いしながら行っております。

〔委員〕

同じく講座の中に「てびねり体験」とあるが、これはどのようなものか？また、子供たちの体験教室で戸隠に行ったというのはどういうバスを使っているのか？

〔公民館〕

「てびねり」とは、ろくろを使わずに行う陶芸のことで、1回目に器を作ったら講師先生のお持ちの窯で焼いていただき、2回目の講座で釉薬を塗って再度先生の窯で焼いていただくという講座となっております。戸隠への移動は市の所有するバスを使用しております。

〔委員〕

合唱サークルの交流会について。これらの団体のメンバーは三輪地区以外の人も含まれるのか？

〔公民館〕

代表者の多くは三輪地区の方ですが、中には地区外の方もおられます。更にメンバーとなると、多くの地区外の方がいらっしゃいます。

〔委員〕

公民館の貸館を利用するに当たっては利用団体の登録が必要とのことであるが、登録はいつまでにしなくてはいけないなどの決まりはあるのか？

〔公民館〕

利用団体の登録は年間随時行っております。

〔委員〕

16mmフィルムの映画上映会が企画されているようだが非常によいと思う。上映機や技師はどうやって確保したのか？

〔公民館〕

公民館の備品の中にあつたもの。技師は民間の技術者をお願いする予定です。

〔委員〕

茶室の利用について、茶道以外の目的での利用時に茶道用具が壊されてた経過がある。茶室である以上、茶道以外への目的に貸し出すことに對し制限は出来ないのか？

〔公民館〕

茶室は畳敷きの和室であり、ヨガの皆さんや琴の皆さんなどにも人気があります。公民館としては施設の有効活用、利用促進の観点から、明らかに危険だと判断できる場合を除いては貸館を制限することは致しません。

ただし今回のように、備品が壊れるというようなことが起こってしまった場合には、そういう心配の無い部屋に移っていただくなどの対策をとっています。

〔委員〕

今年度の基本方針の③に、家庭・地域・学校と協働し、学びの講座を通して地域づくり・人づくりをすすめるとあり、これは非常にいいことだと考える。一つの例として、三輪小学校の6年生が、地元で伝わる三輪甚句の皆さんに三味線を習った授業を行っている。始めは無理だと思っていた三味線が地元の方の丁寧な指導で徐々に出来るようになり、子供たちは大きな自信をつけた。教えて下さった方々にも非常に喜んでいただいたとき、両者にとって大変価値のある取り組みとなった。また、家庭環境の問題から通常の授業を受けるのがなかなか難しい子が、先日公民館にお邪魔しまして木彫りの講座を見学させていただいた際、皆さんに非常に可愛がられ、色々なことを教えていただいた。帰るときには日頃あまりしゃべらないその子が、90度に腰を折り深々と頭を下げ、「ありがとうございました」とお礼を言っていた姿に大きな感動を覚えた。この場を借りて温かく迎えてくれた皆さんにお礼を述べたい。

〔委員〕

毎年2月に作品展を開催されているようだが、住自協でも同様の内容の文芸祭がある。両者が一緒に出来ない理由はあるのか？

〔公民館〕

一緒に出来ないという明確なネックはないと思います。ただし作品展と舞台発表を同時に開催するとなると、会場のスペースの問題などはあるかと思いますが、いずれにしても内容が似通った事業でもありますので、共催することでメリットは大きいと考えます。情報交換をしながら可能性を探っていきたいと思います。

〔委員〕

公民館のお部屋に年寄りなどが集って会話をしたり飲食したりすることは出来るのか？

〔公民館〕

飲食は原則として禁止させていただいております。集まっていただく場所については談話室があ

りますので自由にご利用いただければと思います。

〔委員〕

災害発生時の対応について、本郷地区など各区の中で定める緊急避難場所として公民館を指定することは可能か。

〔公民館〕

市内には災害時の避難場所が253箇所あり、当地区においては三輪小学校と城東小学校が指定されています。避難場所として機能するためには必要な面積、機能、設備など一定の要件を満たす必要があります。「避難場所」として指定は出来ないが、地区住民の安否確認のために公民館を「集会所」として指定することは出来ます。

〔委員〕

何点かお聞きし提案したい。はじめに施設の管理運営面について。今年度から茶室など鍵のかかっている部屋の鍵の開け閉めを利用者本人が行うようになったと聞いた。今まで鍵は公民館の方で開けていたのものが何故そうなったのかと戸惑う声も聞かれる。続いて駐車場について。ご存知のとおり三輪公民館は駐車可能台数が非常に少なく、利用者は常に不便を感じている。近隣の土地を借り上げたり、駐車場内の自転車置き場を移転して、駐車台数を増やすなどの取り組みが必要ではないか。最後に公民館の指定管理について。今年から若槻公民館も指定管理が始まり、市内でもだいぶ増えてきた。我が住自協においてもいよいよ検討していかななくてはいけない時期だと思っている、ただ現状に鑑みて今すぐ移行できるものではなく、基本的なスタンスとしては、指定管理のトップランナーになるのではなく、あくまで他の公民館の様子や状況を見ながら、メリット・デメリットを見極めながら進めていきたい。

そうしたなかそろそろ検討委員会なりを立ち上げ、勉強を始めなくてはならないと感じている。事務局においては情報を提供していただけるとありがたい。

〔公民館〕

まず鍵をはじめとする管理の件ですが、現在は高価な茶器のある旧館和室及び危険な刃物や工具のある料理、工作室については施錠をしています。これは利用者様の安心安全を第一とするための措置です。事前に鍵を開けておきますと、実際に利用される方が見える前に無人の時間が生じます。そうしたときに備品が盗難にあったり、更には不審者等の進入を許すことにも繋がりがねません。今年の冬には市の施設に爆発物を仕掛けたというメールがあるなどの事件も起きました。こうしたことを防ぐという観点からそうした措置をとらせていただきました。本来であれば利用者説明会の折にご説明すべきことでもありますが、何より安全に関わる部分ですのでご理解いただきたいと考えます。今後も毎月の貸館受付の際や、利用者説明会等の場においてご説明して参ります。続いて駐車場の件ですが、これは例年いただくお話であり、対応には苦慮しているところです。新たに土地を借りるには財政的な負担も生じますし、駐輪場の移転も、自転車で来られる方への対応策を講じる必要があります。成人学校など大きな講座があるときには貸館を制限するなど工夫し

て対応してはいますが、いずれにしましても地元の皆さんとお話をさせていただき、引き続き公民館を利用される皆様に御協力をお願いするとともに、市教育委員会と相談をしながら解決に向けた努力をしていきたいと考えます。

公民館の指定管理については、住自協の皆さんの準備にご協力させていただきたいと考えております。

以上をもって質疑応答を終結。

提出議題を満場一致で可決し閉会した。 —